



北陸地方整備局

金沢河川国道事務所

取扱い

本資料の発表をもって解禁

平成22年3月9日

国土交通省金沢河川国道事務所

「第4回 小松天満宮整備計画評価委員会」の開催のご案内

小松市を流れる梯川は、昭和43年8月出水による内水氾濫や支川の決壊等の大きな災害を契機に、昭和46年から国による治水対策が進められ、現在は小松大橋周辺の市街地隣接地区における河川改修事業を鋭意実施しています。

今後、国指定重要文化財小松天満宮周辺での本格的な河川改修事業を実施するにあたり、その文化的重要性の保存と利用に配慮した整備計画を検討する必要があるため、金沢河川国道事務所が学識経験者の方々に助言を頂くことを目的に「小松天満宮整備計画評価委員会」を設置し、平成18年度から20年度にかけて3回開催したところです。今回は前回の委員会で課題として残った小松天満宮との景観の調和やCDM工法（セメント改良）による周辺への環境影響などについて事務局（案）に対するご意見をいただく予定です。なお、今回の第4回委員会は最終の委員会となります。

第4回小松天満宮整備計画評価委員会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 日 時：平成22年3月10日（水）14：00～16：00
2. 場 所：金沢河川国道事務所 小松出張所・前川排水機場 3階会議室
（梯川手づくり学習館3階）
小松市小島町ヲ27-2（別添図参照）
TEL 0761-23-4000
3. 傍 聴：本委員会は、報道関係者及び一般の方々の傍聴ができます。当日は、13：50までに会場にお集まり下さい。ただし、会場の都合により、人数に制限があります。また、傍聴にあたっては、会議の運営を速やかに行うため、会場では係員の指示に従って下さい。
4. 撮 影：当会場での撮影（テレビカメラ・スチールカメラ）は、議事に入ってからのご遠慮ください。

以 上

お問合せ先

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所

調査第一課長 森田（もりた）

TEL 076-264-8800(代) (内線)351

小松天満宮整備計画評価委員会 名簿

氏名	専門分野	所属
町村 尚	微気象学	大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授
松枝 章	植物学	愛樹技術士研究所 所長
関戸 信次	地下水	小松市文化財調査委員会 委員長
中森 勉	建築学・文化財	金沢工業大学環境・建築学部建築系建築学科 准教授
鈴木 洋之	河川工学	石川工業高等専門学校環境都市工学科 准教授



第3回小松天満宮整備計画評価委員会の様子（平成21年3月6日）

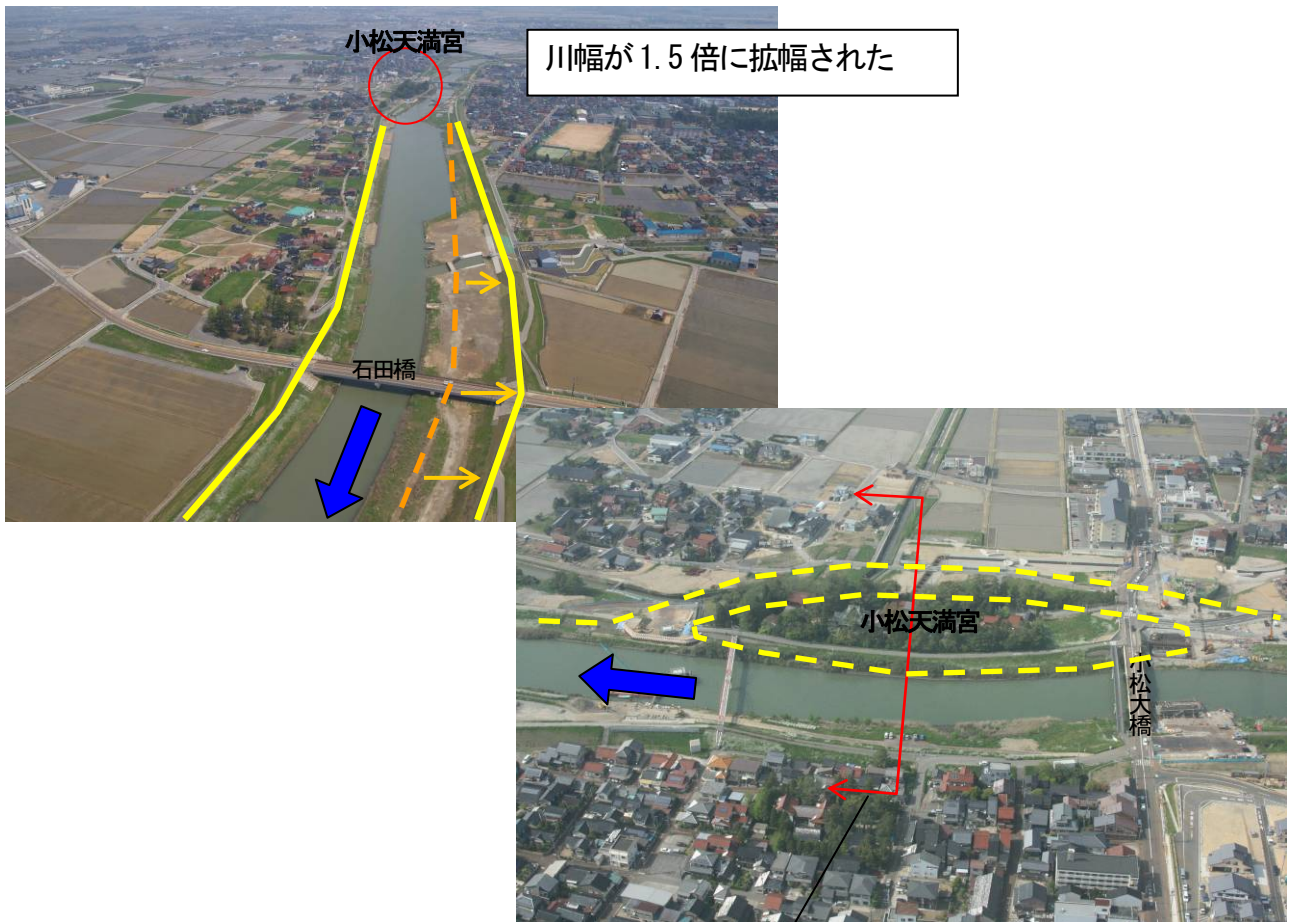


小松天満宮整備計画評価委員会現地調査会の様子（平成19年9月7日）

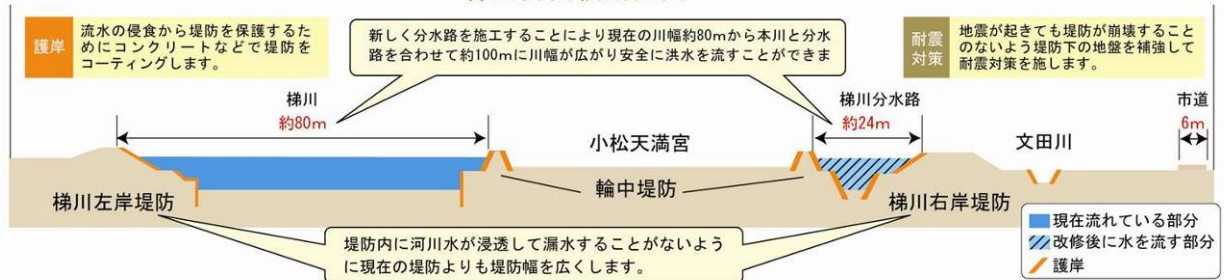
梯川の小松地区改修事業とは？

梯川は洪水処理能力が計画の約半分程度しかないため、不足分を抜本的に解消するため、大規模な河川の拡幅を下流から実施しており、現在、河口から約2.8kmまでが従前の川幅80mから120mと1.5倍に拡幅整備されました。

小松地区改修では、国指定重要文化財に指定されている「小松天満宮」を現在の位置で保存しつつ、分水路方式による河川改修を行います。改修事業としては、分水路の新設と小松大橋の架け替え、道路・水路の付け替えなどを行います。



梯川計画横断面図



小松天満宮とは？

加賀藩三代藩主前田利常が北野天満宮に模して創建しました。江戸時代初期の優れた建築様式を今に伝えるところから、昭和36年に、天満宮の一部が国の重要文化財指定されています。



小松天満宮の主な文化財の指定状況

- 小松天満宮社殿 本殿、石の間、幣殿及び拝殿（国指定重要文化財）
- 小松天満宮神門（国指定重要文化財）
- 十五重の石塔（市指定文化財）

「第4回小松天満宮整備計画評価委員会」開催会場までの地図

